

カンボディア国
母子保健プロジェクト（フェーズ2）
実施協議調査団報告書

平成 12 年 2 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

カンボディア王国では、母子保健状況が近隣諸国と比べて特に劣悪であり、その改善が急務となっており、1993年11月に国家母子保健計画が策定されました。

かかる背景のもと、わが国は同国に対し、国立母子保健センターの機能強化を目的とした母子保健プロジェクト(1995～2000年)を実施し、あわせて同センターを無償資金協力により建設(1997年完工)しました。

カンボディア王国側はこれらプロジェクトを高く評価しており、その成果を踏まえて国立母子保健センターのさらなる機能強化と州病院・ヘルスセンターなど地方の母子保健機能の強化を主眼とするプロジェクト方式技術協力を新たに要請してきました。

これを受け、国際協力事業団は、先方と協議を行い、技術協力の具体的な内容の確認と計画立案のため1999年12月に短期調査員を派遣しました。今般、この調査結果を踏まえて、討議議事録および暫定実施計画を締結することを目的として、2000年1月9日から同年1月15日までの日程で、国立国際医療センター病院長 矢崎義雄氏を団長とする実施協議調査団を派遣しました。本報告書は、同調査団が実施しました調査および協議内容とその結果を取りまとめたものです。

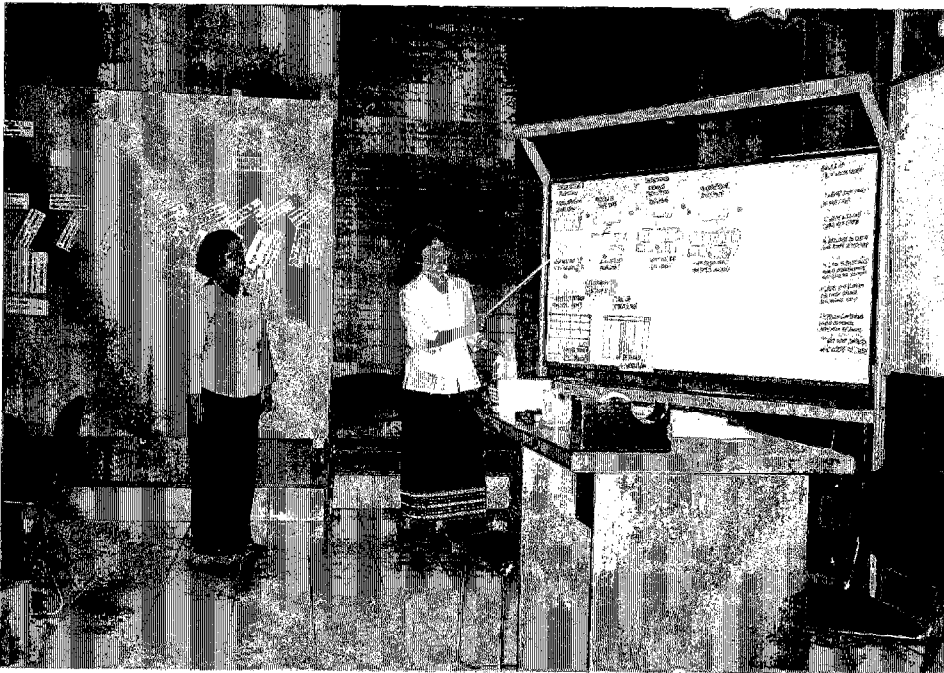
ここに本調査にあたりまして、ご協力を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表しますとともに、今後の本件プロジェクトの実施・運営に対しまして、いっそうのご協力をお願い申し上げます。

平成12年2月

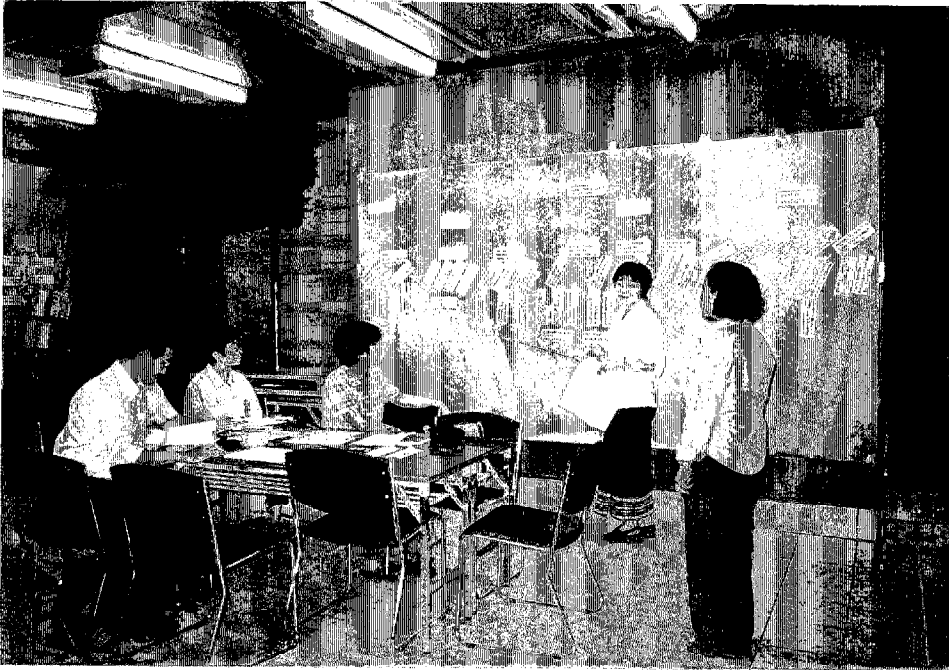
国際協力事業団
理事 阿部英樹



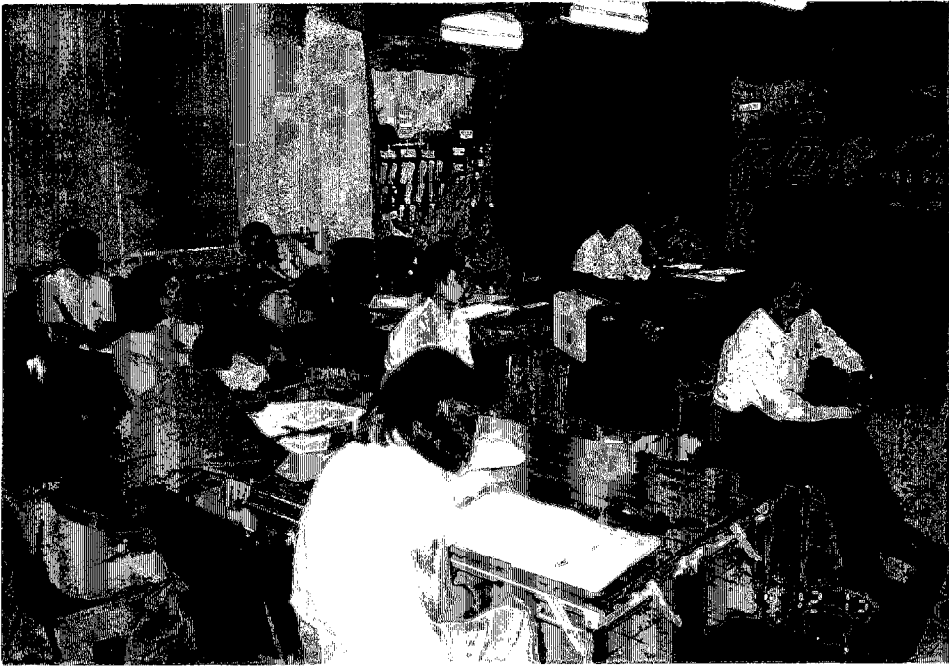
国立母子保健センター



PCM ワークショップ
(短期調査)



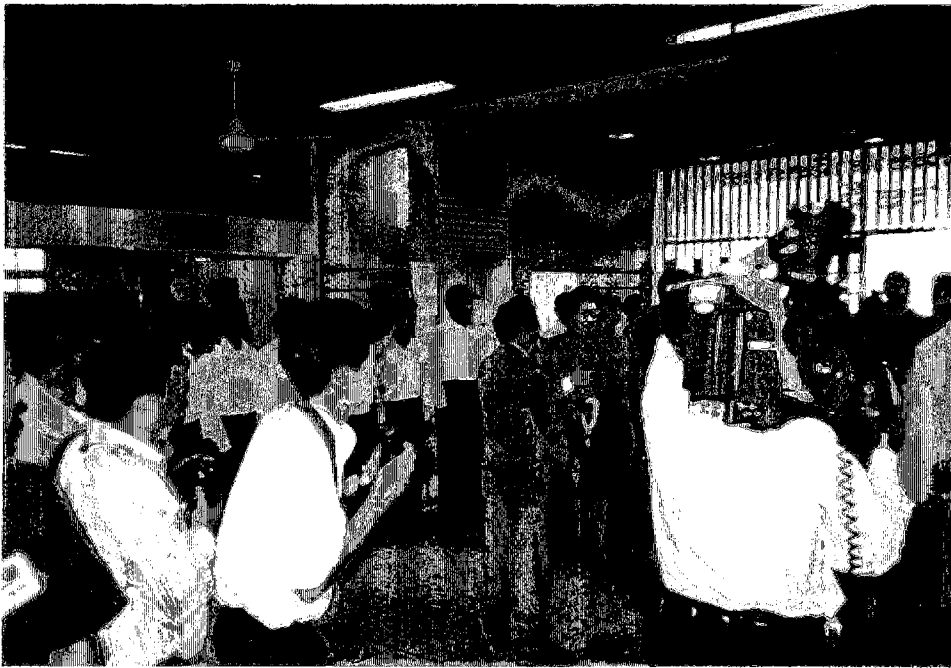
PCM ワークショップ
(短期調査)



同 上



R / D 協議



小淵首相夫人
センター来訪



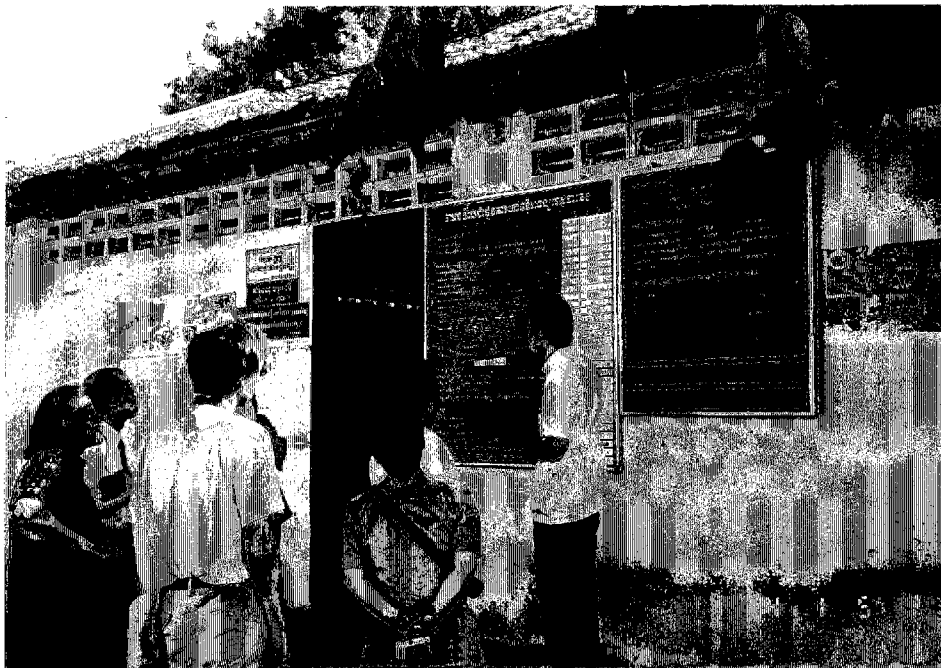
カンダール州病院



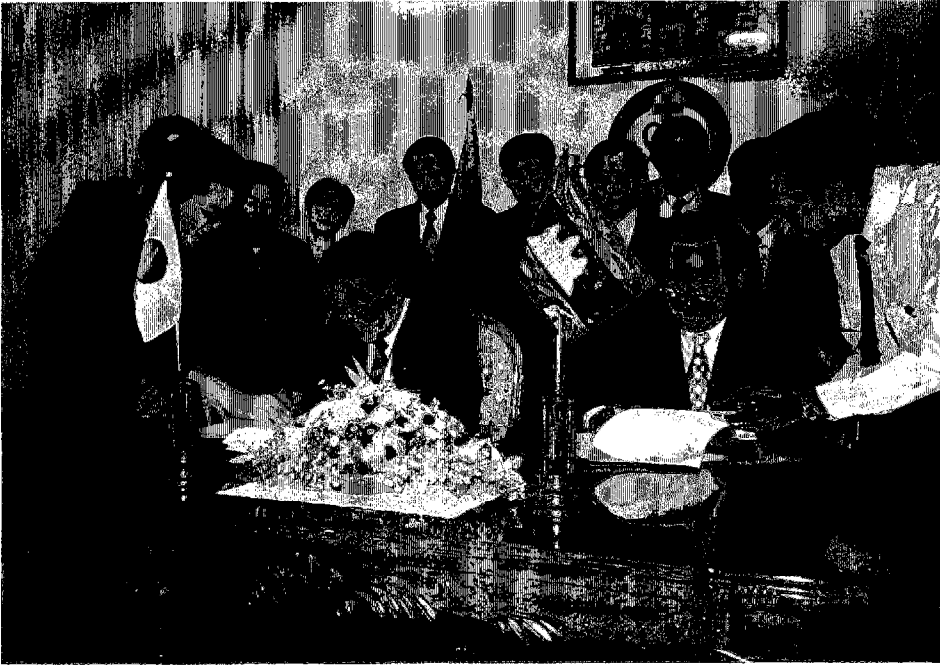
同病院産科病棟



タケ才州病院



同病院受付外観



R / D 署名

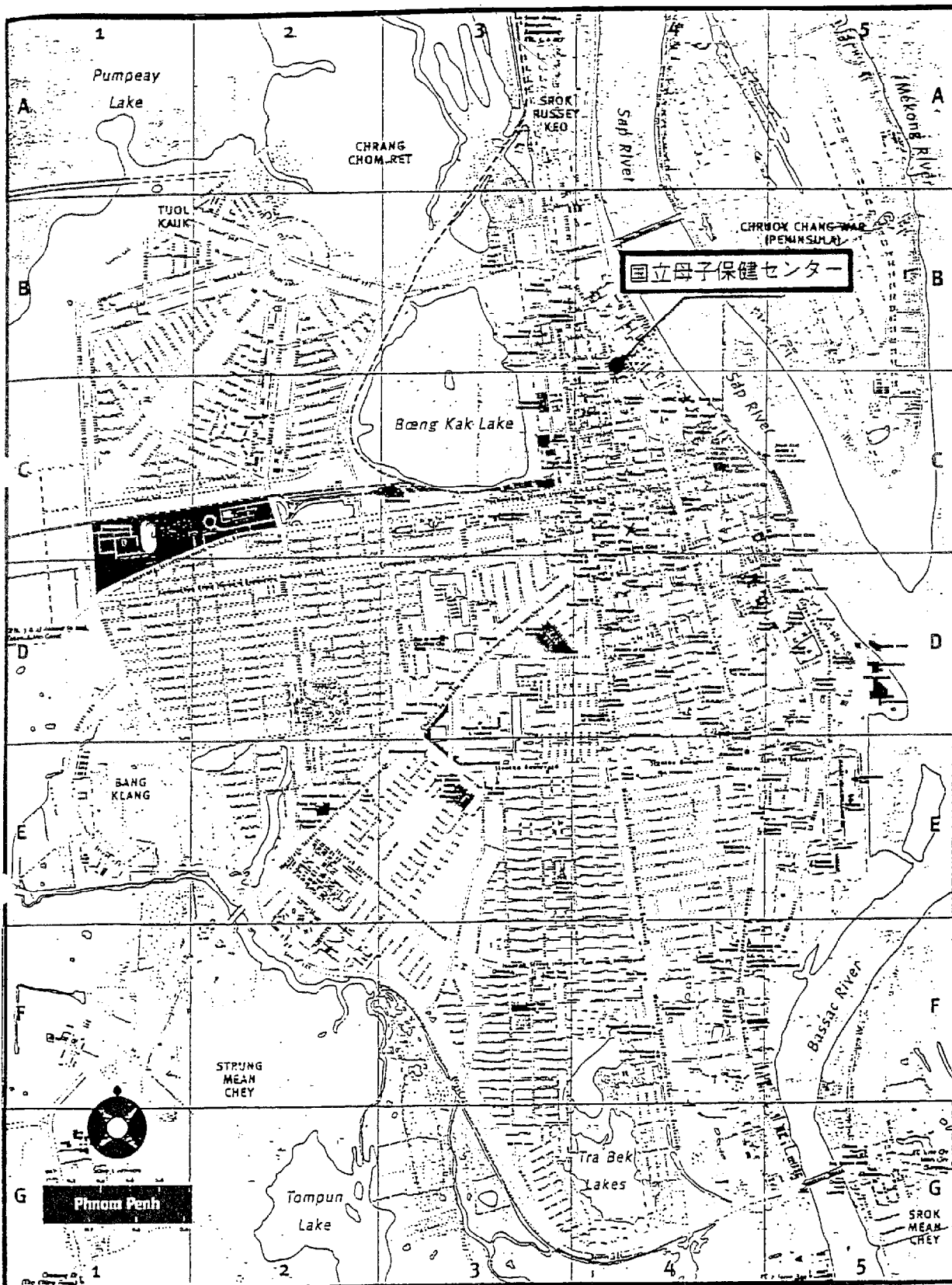


署名後
関係者一同

地図：カンボディア王国



サイト予定地図



目 次

序 文
写 真
地 図

1 .実施協議調査団派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	2
2 .総 括	4
3 .討議議事録	5
3 - 1 交渉経緯	5
3 - 2 討議議事録等	7
3 - 3 討議議事録等の訳文	22
4 .プロジェクト実施上の留意点(分野別)	30
4 - 1 運営管理分野	30
4 - 2 産婦人科分野	31
4 - 3 看護管理分野	33
附属資料	
伊藤短期調査員報告書	39
中村短期調査員報告書	55
Health Workforce Development Plan (1996 - 2005)	105
National Policies and Strategies for Human Resources for Health(1999 - 2003)	194